

# 第4章 業務概要

## 1 事業推進課

### 1.1 庶務・企画

- (1) 所の庶務・維持管理
- (2) 川崎市環境総合研究所所有識者懇談会・事業等連絡調整会議の開催
- (3) 研究所職員向け研修・研究発表の統括
  - ・安全衛生教育研修（2019年4月3日）
  - ・公用車（電気自動車）研修（2019年4月3日）
  - ・ガラス器具の取扱講習会（2019年7月11日）
  - ・高圧ガス保安講習会（2019年7月22日）
  - ・薬品講習会（2019年8月29日）
  - ・メンタルヘルス講習会（2020年1月31日）
  - ・環境総合研究所研究計画発表会（2020年2月18日、2月19日）
- (4) 研究所年報刊行、ホームページ管理

### 1.2 環境教育・学習業務

- (1) 環境学習教室等のイベントの開催

NPO法人等多様な主体と連携した環境教育の実施

市民団体や企業などの多様な主体と連携して環境教育を行うことを目的に、2013年度より委託事業を実施している。2019年度は特定非営利活動法人鶴見川流域ネットワークに委託し、次の講座を実施した。

- ・研究所の立地条件や研究成果を活かした講座
  - (7) 小学生以上を対象とした干潟の生きもの観察会（7回）
  - (4) 多摩川河口の野鳥観察会（2回）



干潟の生きもの観察会



干潟の生きもの観察会



干潟生きもの観察会



野鳥観察会

ウ 環境セミナー

市民及び職員を対象に水、大気、都市環境等の分野を学ぶ講座の実施。2019年度は4回実施し、第1回「令和最初の夏に向けて、熱中症対策は万全ですか？」（報告者：国連大学サステナビリティ高等研究所、信号器材株式会社、川崎市環境総合研究所、川崎市消防局）、第2回「川崎市臨海部に息づく生きもの保全」（報告者：花王株式会社、東芝エネルギーシステムズ株式会社、特定非営利活動法人多摩川干潟ネットワーク、特定非営利活動法人鶴見川流域ネットワーク、川崎市環境総合研究所、）、第3回「川崎市の昔と今の大気汚染～PM2.5とオキシダント」（報告者：川崎市環境総合研究所）、第4回「インドネシア共和国バンドン市との都市間連携による環境改善」の成果報告（報告者：インドネシア共和国バンドン市、川崎市環境総合研究所）を実施した。



第1回環境セミナー



第4回環境セミナー

エ 関係機関との協働事業の実施

夏休み多摩川教室、エコ暮らしこフェア、キングスカイフロント夏の科学イベントへの出展



エコ暮らしこフェア



夏休み多摩川教室



キングスカイフロント夏の科学イベント

オ その他

環境総合研究所環境学習学生サポーター制度（登録8名）

(2) 学校の体験授業の受け入れ

小・中学校等からの体験授業の依頼による環境学習の実施



大師小学校総合的な学習の時間



旭町小学校総合的な学習の時間



東大島小学校総合的な学習の時間

## 2019年度環境教育・学習事業概要一覧

No.	事業名	実施日	実施概要	対象及び 当日参加人数
1	第1回干潟の生きもの観察会	5月19日	多摩川河口干潟に生息している生きもの観察と二枚貝の水浄化実験を実施。(定員:60名)講師:小林(TRネット)・江良弘光(サイエンスグラフィックイラストレーター)	小学生以上 45名
2	東大島小学校 干潟生きもの観察会	5月20日	多摩川河口干潟の生きもの観察(講師:多摩川クラブ)及び研究所の環境学習用冊子「水辺の生きもの」による環境学習を実施。	東大島小学校 5年生 43人
3	第2回干潟の生きもの観察会	6月2日	多摩川河口干潟に生息している生きもの観察と二枚貝の水浄化実験を実施。(定員:60名)講師:小林(TRネット)・江良弘光(サイエンスグラフィックイラストレーター)	小学生以上 69名
4	東大島小学校 干潟生きもの観察会	6月17日	多摩川河口干潟の生きもの観察(講師:多摩川クラブ)及び研究所の環境学習用冊子「水辺の生きもの」による環境学習を実施。	東大島小学校 5年生 42人
5	大師小学校出前授業	6月19日	川崎市地球温暖化防止活動推進センターと連携した出前授業として、松の葉の観察による大気の流れ観察などを実施。	大師小学校 5年生 80人
6	環境セミナー(第1回)	7月3日	「令和最初の夏に向けて、熱中症対策は万全ですか?」をテーマに国連大学サステナビリティ高等研究所の瀧口氏による気候変動が市民生活に与える影響の講演等を実施。(定員:50名)	一般 44人
7	第4回干潟の生きもの観察会	7月6日	多摩川河口干潟に生息している生きもの観察と二枚貝の水浄化実験を実施。(定員:60名)講師:小林(TRネット)・江良弘光(サイエンスグラフィックイラストレーター)	小学生以上 67名
8	水辺で乾杯 (干潟及び葦群生地)	7月7日	川の日である7月7日にだいし水辺の楽校等が行う干潟及び葦群生地の観察会において、市民活動団体、企業、行政が連携して干潟生きもの観察を実施。	小学生以上 17名
9	第5回干潟の生きもの観察会	7月20日	多摩川河口干潟に生息している生きもの観察と二枚貝の水浄化実験を実施。(定員:60名)講師:小林(TRネット)・江良弘光(サイエンスグラフィックイラストレーター)	小学生以上 63名
10	夏休み多摩川教室	7月25日 26日	多摩川の水質や自然環境等へ持続的に興味を持ってもらうことを目的に多摩川流域協議会が開催する夏休み多摩川教室において、関係部署とともに「川の中の生きものコーナー」を実施。川の中の魚や底生生物などを採取し、顕微鏡で観察を実施。	一般1100名 (全体1720名)
11	第6回干潟の生きもの観察会	7月29日	多摩川河口干潟に生息している生きもの観察と二枚貝の水浄化実験を実施。(定員:60名)講師:小林(TRネット)・江良弘光(サイエンスグラフィックイラストレーター)	小学生以上 58名
12	ごみゼロカフェの 干潟の生きもの観察	7月29日	減量推進課主催のごみゼロカフェにおけるマイクロプラスチックに関する講座の中で行う多摩川河口干潟生きもの観察とゴミ拾いを実施。	小学生以上 36名
13	エコ暮らしフェア	7月27日	環境に配慮した生活を楽しみながら学んでもらうことを目的に、環境局及び川崎フロンターレ等が共催する事業で、「つくろう!瞬間冷え冷えパック」のブースを運営。省エネ地球温暖化対策として注目された瞬間冷却材を尿素と水の化学反応を利用して参加者が手作り。	小学生以上 109名
14	第7回干潟の生きもの観察会	7月31日	小・中学校の教諭を対象とした水辺の自然観察ガイド講座—多摩川河口干潟の生きもの観察—を実施。(定員:48名) 講師:岸由二(TRネット)	小学生以上 21名
15	キングスカイフロント 夏の科学イベント	8月1日	「殿町国際戦略拠点キングスカイフロント」にて、立地研究機関等によるイベント「キングスカイフロント夏の科学イベント」を実施。環境総合研究所は、「燃料電池自動車走らせよう!」等のブースを担当。	一般110名 (52+58) (全体2500名)

16	星空ウォッチング in キングスカイフロント・夏	8月2日	「かわさき宙と緑の科学館」と共同で開催し、すばるやオリオン大星雲に関する解説及び天体望遠鏡での星空観察を実施。(定員:70名) 講師: 國司眞氏(かわさき宙と緑の科学館)	小学生以上 68名
17	藤崎小学校 干潟生きもの観察会	9月2日	多摩川河口干潟の生きもの観察(講師:多摩川クラブ)及び研究所の環境学習用冊子「水辺の生きもの」による環境学習を実施。	藤崎小学校 5年生 150人
18	殿町小学校 干潟生きもの観察会	9月13日	多摩川河口干潟の生きもの観察(講師:事業推進課)及び研究所の環境学習用冊子「水辺の生きもの」による環境学習を実施。	殿町小学校 5年生 84人
19	旭町小学校総合学習	9月24日	「松の葉観察」「燃料電池車模型の体験」(講師:事業推進課)を実施。	旭町小学校 5年生 69人
20	第8回干潟の生きもの観察会	9月28日	多摩川河口干潟に生息している生きもの観察と二枚貝の水浄化実験を実施。(定員:60名) 講師:小林(TRネット)・江良弘光(サイエンスグラフィックイラストレーター)	小学生以上 59人
21	第1回野鳥観察会	10月27日	多摩川河口に生息する野鳥及び双眼鏡の使用方法など野鳥観察の予備知識についての講義及び観察を実施。(定員:60名)	小学生以上 30名
22	星空ウォッチング in キングスカイフロント・秋	11月8日	星空観察を通して、大気環境について考え、身近な環境保全活動へのきっかけとして、「かわさき宙と緑の科学館」と共同で開催。夏の星空に関する解説を実施。(定員:70名) 講師: 米谷氏(かわさき宙と緑の科学館)	小学生以上 64名
23	第2回野鳥観察会	11月23日	多摩川河口に生息する野鳥及び双眼鏡の使用方法など野鳥観察の予備知識についての講義及び観察を実施。(定員:60名)	小学生以上 16名
24	日本女子大学付属 豊明小学校 総合学習	11月27日	「多摩川の下流」をテーマに、多摩川下流の歴史、多摩川河口干潟や生きものについて講義、シジミの浄化実験の環境学習を実施(講師:事業推進課)。	豊明小学校 4年生 118名
25	環境セミナー(第2回)	12月20日	「川崎臨海部に息づく生きものの保全」をテーマに、花王㈱、東芝エネルギーシステムズ㈱、NPO法人多摩川干潟ネットワークによる取組事例紹介とNPO法人鶴見川流域ネットワーク代表理事の岸氏による講演会を実施。(定員50名)	一般 50名
26	環境セミナー(第3回)	1月21日	「川崎市の昔と今の空気汚染～PM2.5とオキシダントについて～」をテーマに川崎市環境総合研究所職員(山田職員)等による講演会を実施。(定員50名)	一般 23名
27	橘小学校出前授業	1月28日	環境局環境対策部大気環境課と連携した出前授業として、大気環境対策に関する講義を実施。	橘小学校 5年生 160人
28	星空ウォッチング in キングスカイフロント・冬	1月31日	「かわさき宙と緑の科学館」と共同で開催し、すばるやオリオン大星雲に関する解説及び天体望遠鏡での星空観察を実施。(定員:70名) 講師: 米谷氏(かわさき宙と緑の科学館)	小学生以上 36名
29	環境セミナー(第4回)	2月5日	「インドネシア共和国バンドン市との都市間連携による環境改善」をテーマに、(公財)地球環境戦略研究機関からバンドン市における廃棄物管理能力向上プロジェクトの概要、バンドン市からは本プロジェクトを通じて改善されたバンドン市の廃棄物政策についての報告会を実施。(定員50名)	一般 53名
30	学生サポーター	通年	研究所の環境学習のイベント・講座等の当日の運営補助の学生ボランティア。	登録学生 8名 延べ12回

## (3) 教材の活用

- ア 環境学習用教材（すごろく型エコライフゲーム等）の貸出
- イ 環境学習用冊子等の配布
  - ・環境学習用冊子・教材「水辺の生きもの」配布、下敷きの作成・配布
  - ・環境学習用冊子「大切な大気のはなし」の配布
  - ・環境学習用教材「川崎市環境総合研究所クリアファイル」の作成・配布



大切な大気のはなし

## 1.3 国際展開・環境技術情報業務

- (1) 国連環境計画（UNEP）等との連携事業
  - 「第16回川崎国際エコビジネスフォーラム」の開催（2019年11月13日）
- (2) 環境技術情報の収集・発信
  - ア 環境技術情報ポータルサイトの運営
  - イ アーカイブスペースの管理・運営
  - ウ 出張展示
- (3) 中国瀋陽市との連携・協力
  - ア 第22期瀋陽市環境技術研修生の受入れ
  - イ 日中都市間連携協力事業
- (4) 海外からの環境技術に関する視察・研修の受入れ
  - 2019年度視察受入数：英国、スウェーデン、ラトビア、タイ、中国、マレーシア、コソボ、ブラジル、ミャンマー、メキシコ、モンゴル、パキスタン、ベトナム、ボスニア、イラン、インドなど19件（302名）

## 1.4 国際連携・研究推進業務

- (1) 国際貢献の推進に向けた研究
  - ア マレーシア国ペナン州「Waste to Energy 技術」による低炭素都市形成支援事業
  - イ インドネシア共和国バンドン市との国際連携の構築に基づくグリーンイノベーション及び技術移転を通じた国際貢献の推進事業
  - ウ 本市の特性を活用した都市間連携によるアジア諸国の環境問題解決に向けた技術・社会システムの構築
- (2) 環境施策に係る総合的な研究
  - 川崎市の気候変動が市内産業経済等に及ぼす影響に係る研究

## 2 都市環境課

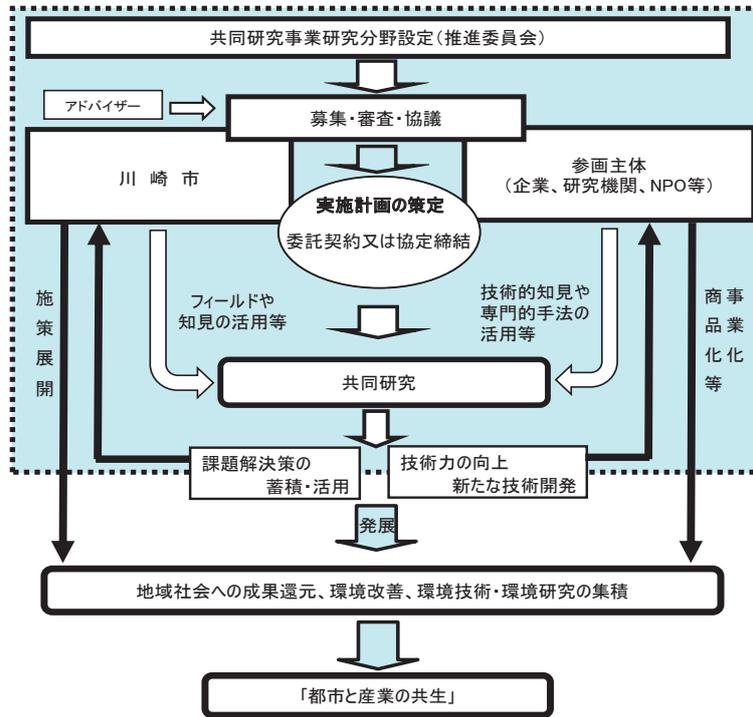
## 2.1 都市環境研究業務

- (1) 地球温暖化対策に関する調査研究
  - ア 気候変動への適応策に関する調査
  - イ 市内の気温や降水量などの気候変動の現況に関する調査研究
- (2) ヒートアイランド現象に関する調査研究
  - ア 気温分布に関する調査
    - 一般環境大気測定局9地点のデータ活用に加えて生田緑地内にて気温の測定を実施
  - イ 熱中症と気温との関係に関する調査研究
- (3) 川崎市気候変動情報センター設置に向けた準備・検討
  - 国等と連携して気候変動影響・適応に関する情報の収集、整理、分析、発信等の機能の確保にむけた検討を行うとともに、令和2年度の気候変動情報センター設置に向けた事務手続きなどの準備を実施

## 2.2 産学公民連携業務

### (1) 環境技術産学公民連携共同研究事業

2019年度の共同研究事業は、6件（公募型共同研究事業3件、連携型共同研究事業3件）を実施



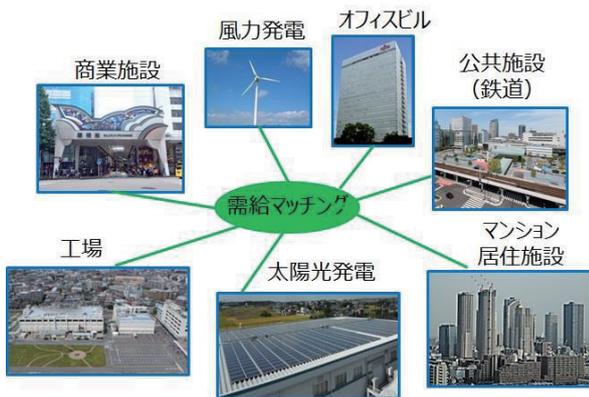
環境技術産学公民連携共同研究事業の流れ

#### ア 公募型共同研究事業

毎年度公募を行い、選定した研究テーマについて、委託事業として実施する共同研究事業

##### (ア) 環境エネルギーシミュレータを用いた再生可能エネルギー地域連携モデルの研究

(共同研究者：富士通株式会社 研究期間：2017年度～2019年度)



エネルギー地域連携モデルイメージ

富士通株式会社（川崎市中原区）と本市は、2017年度から、環境・地域特性に合わせた地域連携エネルギーシミュレーションを確立し、現状個別に取り組んでいる省エネ・創エネ及び再エネ利用を一定の地域内で平準化することによる地産地消の可能性について研究を行った。

2017年度は、市内の再エネ設備情報等を収集し、それらをデータベース化・可視化するとともに、市内の気象情報等を考慮し、電力エネルギー需給に関するシミュレーションを行った。

2018年度は、市内の特徴的な地区（オフィス街、商業地域、住宅地）を選定し、再エネ設備情報や施設情報等を収集・活用して、その地区におけるエネルギー連携シミュレーションモデルを構築した。

最終年度となる2019年度は、2018年度に構築したエネルギー連携シミュレーションモデルを活用し、麻生区内にある太陽光発電設備由来の電力で、新百合ヶ丘駅周辺のビル群とのエネルギーマッチングモデルや市役所第3庁舎をモデルケースとしてオフィスビルで使用する電力をまかなう（オフィスビルのRE100化）ために最低限必要な蓄電池容量を算出するための最適化シミュレーションモデルを構築した。

今後、本研究成果の活用によって、再エネの効率的な活用が推進され、市内CO<sub>2</sub>排出量の削減に資することを期待している。

(イ) 人口減少社会におけるグリーンインフラとしての空地デザイン技術ならびに空地まちづくりの構想技術に関する研究

(共同研究者：学校法人工学院大学 研究期間：2017年度～2019年度)

学校法人工学院大学（東京都新宿区）と本市は、2017年度から、今後の人口減少社会において空地が環境問題となることを回避するために空地を新たに“グリーンインフラ”として、人が使えるものとしてデザインする技術及び“グリーンインフラ”の利活用手法について研究を行った。

2017年度は、麻生区金程の公益用地において、「自然を活かした広場づくり」をコンセプトとして、緑化が人に与える効果を目的に、全面樹皮マルチング、スウェール（生物のすみ処としての機能も有する低湿地）及び季節感のある植栽などを配置したグリーンインフラのプロトタイプ（フィールド名称：カナドコロ）を整備した。その後、地域住民の理解、参加を図るため、現地でワークショップなどを開催し、カナドコロに対する地域住民の期待・要望、課題等を把握した。

2018年度は、カナドコロの更なる利用促進を図るため、継続的なマーケット開催とともに、スウェール、レイズドベッド等のグリーンインフラやフラクタル日除け等を整備し、暑熱環境に与える効果測定を実施するとともに、カナドコロの継続的な利活用に向けて、維持管理等の運営・マネジメント手法の構築に向けた検討を進めた。

最終年度となる2019年度は、地域に根ざした広場としての浸透を図るため、地域の利用促進（地元向け情報発信の強化、地元保育園と連携した取組など）に取り組むとともに、3年間の取組を踏まえた広場の利活用、維持管理手法の評価・検証を進めた。また市内の他の空地を対象とした地域利用ケーススタディを行い、横展開に向けた事例・ノウハウをとりまとめた。

今後、本研究成果の活用によって他の空地等への横展開が推進され、空地等の有効活用が進むことを期待している。



整備直前の状態

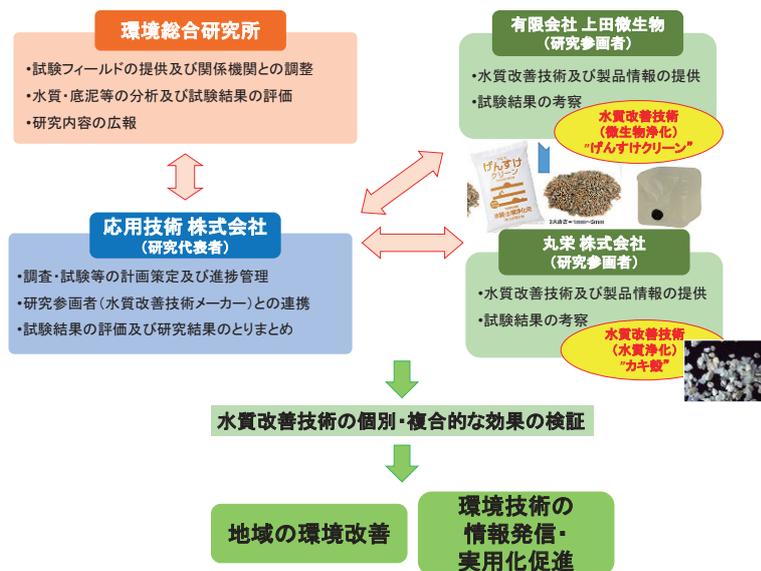


整備後



(ウ) 湖沼等の閉鎖性水域における水質改善に関する技術実証

(共同研究者：応用技術株式会社 研究期間：2019年度～)



応用技術株式会社（大阪府大阪市）と本市は、2019年度から、都市化が進む本市にとって市民の憩いの場としても貴重な親水空間である公園内の池などの小規模湖沼の水質改善を目的として、複数の環境技術による個別及び複合的な水質改善効果の実証に関する研究を行っている。

2019年度は、むじなが池（麻生区白山）を実証フィールドに選定し、同池から池水及び底泥を採取、実験用水槽内に模擬的に池を再現し、複数の環境技術による個別の水質改善効果を検証した。

イ 連携型共同研究事業

多様な連携のスタイルに対応するため、2014 年度に「環境技術産学公民連携共同研究事業に係る申請及び実施に関する要領」を改正し、新たに位置づけたフィールド提供を中心とした共同研究事業

(ア) ブラウンフィールドにおけるファイトレメディエーション導入の共同研究

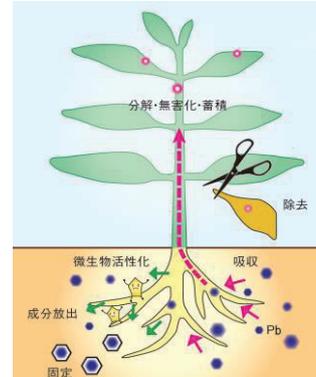
(共同研究者：学校法人五島育英会東京都市大学 総合研究所 応用生態システム研究センター  
研究期間：2017 年2月～2020 年2月)

学校法人五島育英会東京都市大学 総合研究所 応用生態システム研究センター（横浜市都筑区）と本市は、2017 年2月に共同研究実施に係る覚書を締結し、植物を使った汚染土壌の浄化について研究を行った。

この研究では、植物の育成環境に厳しいといわれる、地下塩水、潮風の影響を受けやすい臨海部地域を実験フィールドとし、「鉛」による汚染を土地の表層部だけでなく根の深い植物を用いて深さ方向にも着目した実証実験を行った。

2016 年度は、臨海部地域における実証フィールドの検討を行った。

2017～2019 年度は、市内臨海部地域の事業所と連携し、同事業所内のブラウンフィールドにおいて、複数の供試植物を育成・採取・分析し、鉛の除去効果等の実証を行った。



※ 図は王効洋・李法雲・岡崎正規・杉崎三男 (2004)：ファイトレメディエーションによる汚染土壌修復、埼玉県環境科学国際センター報第3号、pp.114-123 を基に作成

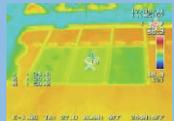
(イ) 溶融噴射式遮熱塗料の効果検証

(共同研究者：信号器材株式会社 研究期間：2017 年8月～)

駐車場を4色に塗り分けて色別の状況を調査しています



塗装の一部は川崎市のブランドメッセージのロゴをイメージした配色にしています。



信号器材株式会社（川崎市中原区）と本市は、2017 年8月に共同研究実施に係る覚書を締結し、溶融噴射式遮熱塗料について研究を行っている。

この研究では、ヒートアイランド現象の緩和を目指し、独自の溶融噴射式カラー舗装の技術をベースに遮熱顔料を組み合わせたアスファルト路面用の遮熱塗料を開発し、その実用化に向けた実証実験を行っている。

2017 年度及び2018 年度は、かわさきエコ暮らし

し未来館駐車場において実際に遮熱塗装を行い、遮熱効果や耐久性等を検証した。

2019 年度は、これまでの研究結果を踏まえて改良型遮熱塗料を作製、かわさきエコ暮らし未来館駐車場に追加施工し、従来型の遮熱塗料と合わせて遮熱効果や耐久性等を検証した。

(ウ) ガス発生を伴う屋内・屋外作業が大気環境／作業環境に及ぼす影響についての調査研究

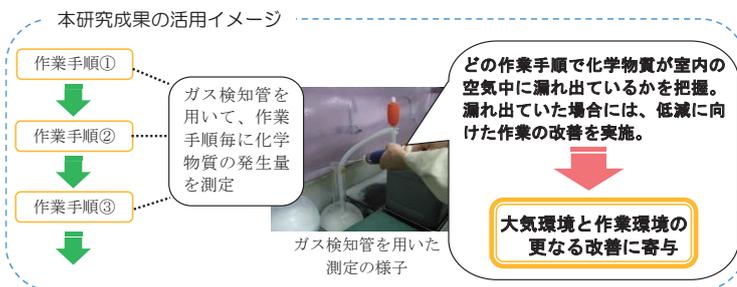
(共同研究者：光明理化学工業株式会社 研究期間：2018 年5月～)

光明理化学工業株式会社（川崎市高津区）と本市は、2018 年5月に共同研究実施に係る覚書を締結し、ガス発生を伴う屋内・屋外作業が大気環境／作業環境に及ぼす影響について研究を行っている。

この研究では、安価、短時間、かつ、簡易なリスクアセスメント手法の確立を目指している。

2018 年度は、市内企業における化学物質等の利用状況を調査するとともに、化学物質等のリスクアセスメントにおいて検知管を用いる手法の普及啓発を図るため、セミナーを開催した。

2019 年度は、計測できる検知管がなかった化学物質について、当該化学物質測定用の新規検知管の開発を進めるとともに、工場や作業所での現場測定を実施し、検知管を用いた現場測定手法の確立に向けた課題の把握等を行った。



## (2) 共同研究事業に係るセミナーの開催（1回）

- ・環境セミナー ～令和最初の夏に向けて、熱中症対策は万全ですか？～（2019年7月3日）

共同研究内容の情報発信に加えて、関連するテーマの最新情報も提供するセミナーを開催。出席者44名

※環境セミナー「産学公民連携共同研究事業の成果報告」については、新型コロナウイルスによる感染拡大防止のため、開催を中止し、後日、資料をホームページに掲載した。

## (3) 川崎国際環境技術展への出展

2019年11月13,14日に開催された第12回川崎国際環境技術展へ出展し、産学公民連携事業の概要及び実施中の共同研究事業の取組内容等について情報発信を行った。

**3 環境リスク調査課****3.1 環境化学物質研究業務**

## (1) 環境中の化学物質に関する調査研究

- ア 川崎市化学物質環境実態調査
- イ 市内化学物質環境実態調査に向けた分析法検討

## (2) 水質汚濁に関する調査

- ア 工場・事業場排出水中のVOC調査
- イ 地下水及び土壌汚染に関する調査
  - ・汚染井戸継続調査（VOC）
  - ・土壌汚染地域周辺の地下水質調査（VOC）
- ウ 水質事故・苦情に伴う調査（農薬、油類、VOC等）

**3.2 環境リスク評価研究業務**

## (1) 化学物質による健康影響に係る環境リスク評価に関する調査研究

- ア 化学物質環境実態調査
- イ 大気拡散モデルを用いた曝露評価に関する調査研究
- ウ 環境リスク評価手法の検討

## (2) 環境及び発生源の有害大気汚染物質等に関する調査研究

- ア 揮発性有機化合物及び多環芳香族炭化水素類のモニタリング調査
- イ 揮発性有機化合物及び多環芳香族炭化水素類の臨海部平面分布調査
- ウ オゾン層破壊物質及びフロン類代替物質のモニタリング調査

**3.3 生物学的調査研究業務**

## (1) 水質汚濁及び生物多様性に関する調査研究

- ア 公共用水域における水質及び水生生物生息状況調査
- イ 多摩川河口干潟及び東扇島人工海浜における生物及び底質調査
- ウ 遺伝子解析を利用した生物生息状況調査
- エ 水質事故・苦情に伴う調査（生物）

**3.4 他機関との共同調査・研究**

## (1) 国立研究開発法人国立環境研究所と地方研究所等の共同研究（Ⅱ型）

- 「LC-MS/MSによる分析を通じた生活由来物質のリスク解明に関する研究」
- 「里海里湖流域圏が形成する生物生息環境と生態系サービスに関する検討」

## (2) 環境省受託化学物質環境実態調査（分析法開発及び環境調査）

## (3) 独立行政法人製品評価技術基盤機構との連携・協力

- 「地域における化学物質のリスク評価」

## (4) 環境研究総合推進費に関する桜美林大学への研究協力

- 「事業者の自主管理を支援するための実践的ツールの開発」

**4 地域環境・公害監視課****4.1 大気調査研究業務**(1) PM<sub>2.5</sub>の成分分析に関する調査研究

- ア 一般環境及び道路沿道における微小粒子状物質（PM<sub>2.5</sub>）の濃度実態調査
- イ 微小粒子状物質（PM<sub>2.5</sub>）の成分調査及び発生源寄与率調査

- (2) 光化学オキシダントに関する解析
  - ア 光化学オキシダントの実態把握
  - イ 光化学オキシダント高濃度現象の解析
- (3) アスベストに関する環境調査
  - ア アスベストの一般環境調査
  - イ 建屋解体等に伴うアスベスト調査
- (4) 酸性雨に関する調査

#### 4.2 水質汚濁防止対策業務

- (1) 工場事業所排水の水質及び工程調査
  - ア 工場・事業場排水の水質調査
    - 工場・事業場の排水に含まれる規制項目（VOCを除く）の水質検査
  - イ 工場・事業場における排水処理施設の維持管理に関する調査
- (2) 汚染井戸継続調査
  - ア 地下水汚染継続調査
    - 汚染井戸に関する水質（VOCを除く）の継続調査（特定有害物質等製造等事業所の地下水質調査、汚染井戸継続調査）
  - イ その他の地下水質（VOCを除く）調査

#### 4.3 苦情・事故等に伴う調査業務

- (1) 大気・水質に係る苦情・事故等に伴う原因物質究明調査

#### 4.4 環境大気常時監視業務

- (1) 一般大気環境常時監視測定
  - 一般環境大気測定局9局での環境大気常時監視の実施
- (2) 道路沿道大気環境常時監視測定
  - 自動車排出ガス測定局9局での環境大気常時監視の実施
- (3) 常時監視機器、測定局の維持管理
  - ア 測定局舎及び測定機器の維持・整備
  - イ 測定結果等の情報提供内容の充実
- (4) 原子炉施設周辺及び市内の環境放射能調査
  - ア 原子炉施設周辺の施設排水及び上水の放射能濃度調査
  - イ 原子炉施設周辺の堆積物及び土壌の放射能濃度調査
  - ウ 原子炉施設周辺の大気浮遊じん、定時降水及び月間降下物の放射能濃度調査
  - エ 原子炉施設周辺の空間ガンマ線量率調査
  - オ 原子炉施設周辺の放射線積算線量調査
  - カ 市内における空間放射線量調査
  - キ 市内における土壌の放射性物質濃度調査

#### 4.5 他機関との共同調査・研究

- (1) 国立研究開発法人国立環境研究所と地方研究所等の共同研究（Ⅱ型）
  - 「光化学オキシダントおよびPM2.5汚染の地域的・気象要因の解明」
- (2) 関東地方大気環境対策推進連絡会 微小粒子状物質調査会議
  - 関東地域における微小粒子状物質等の実態把握
- (3) 神奈川県公害防止推進協議会 PM2.5等対策検討部会
  - 県内における微小粒子状物質等の濃度及び成分組成調査

大気常時測定監視網



一般環境大気測定局

2020年3月末現在

地区	測定局名 (設置場所)
大師	大師 (川崎区役所大師分室)
田島	田島 (田島支援学校)
川崎	川崎 (市役所第4庁舎)
幸	幸 (幸スポーツセンター)
中原	中原 (中原区役所地域みまもり支援センター)
高津	高津 (生活文化会館)
宮前	宮前 (宮前平小学校)
多摩	多摩 (登戸小学校)
麻生	麻生 (弘法松公園)

自動車排出ガス測定局

2020年3月末現在

地区	測定局名 (設置場所)
田島	池上 (池上新田公園前)
川崎	日進町 (都市機構川崎日進市街地住宅敷地内)
川崎	市役所前 (市役所前)
幸	遠藤町 (御幸小学校)
中原	中原平和公園 (中原平和公園)
高津	二子 (高津区役所道路公園センター)
宮前	宮前平駅前 (上下水道局管理地)
多摩	本村橋 (本村橋)
麻生	柿生 (麻生消防署柿生出張所)